

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成31年2月8日 |
| 【四半期会計期間】 | 第86期第3四半期（自平成30年10月1日至平成30年12月31日） |
| 【会社名】 | 不二硝子株式会社 |
| 【英訳名】 | FUJI GLASS CO., LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 小 熊 信 一 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都墨田区文花二丁目15番9号 |
| 【電話番号】 | 03(3617)5111（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役 丸 山 光 二 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都墨田区文花二丁目15番9号 |
| 【電話番号】 | 03(3617)5111（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役 丸 山 光 二 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第85期 第3四半期連結 累計期間 | 第86期 第3四半期連結 累計期間 | 第85期 |
|------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 会計期間 | 平成29年4月1日 平成29年12月31日 | 平成30年4月1日 平成30年12月31日 | 平成29年4月1日 平成30年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 1,946,947 | 1,931,646 | 2,507,565 |
| 経常利益 (千円) | 76,382 | 58,517 | 89,323 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 48,249 | 87,700 | 51,617 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 146,306 | 108,379 | 163,700 |
| 純資産額 (千円) | 2,495,613 | 2,604,901 | 2,512,990 |
| 総資産額 (千円) | 3,617,336 | 3,688,791 | 3,671,213 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 23.47 | 42.66 | 25.11 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 66.8 | 68.5 | 66.3 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 93,521 | 182,494 | 204,204 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 79,009 | 16,209 | 99,324 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 29,439 | 64,415 | 76,526 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円) | 389,736 | 567,306 | 433,017 |

| 回次 | 第85期 第3四半期連結 会計期間 | 第86期 第3四半期連結 会計期間 |
|-------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 平成29年10月1日 平成29年12月31日 | 平成30年10月1日 平成30年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 2.25 | 25.01 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

財政状態

(総資産)

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1千7百万円増加し36億8千8百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が1億6千2百万円減少した一方で、現金及び預金が9千6百万円、有価証券が7千8百万円及び投資有価証券が2千8百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して7千4百万円減少し10億8千3百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債が3千5百万円及びその他が2千1百万円増加した一方で、買掛金が3千万円、未払法人税等が1千5百万円、賞与引当金が4千万円及び長期借入金が3千3百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して9千1百万円増加し26億4百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が7千2百万円及びその他有価証券評価差額金が1千8百万円増加したことによるものであります。

経営成績

当社グループの平成31年3月期第3四半期の売上高につきましては、前年同四半期と比較してその他部門の売上が増加しましたがアンプル部門の売上が減少したため若干昨年実績を下回り、売上高19億3千1百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

利益面につきましては、引続き稼働率及び製造歩留りの向上及び積極的な経費削減に取り組みましたが、製造経費の主要経費である都市ガス料金や電気料金の価格が高値水準で推移し増加したこと等により、前年と比較して営業利益は3千6百万円（前年同期比33.7%減）、経常利益は5千8百万円（同23.4%減）とそれぞれ減少しましたが、不動産の売却が行われたことにより、特別利益として固定資産売却益7千5百万円が計上され、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千7百万円（前年同期比81.8%増）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億3千4百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には5億6千7百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億8千2百万円（前年同四半期は9千3百万円の資金増加）となりました。これは主に賞与引当金の減少4千万円、有形固定資産売却益の計上7千5百万円、仕入債務の減少3千万円及び法人税等の支払額2千5百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益1億3千4百万円、減価償却費4千6百万円、たな卸資産の減少1億6千1百万円及び未収入金の減少2千万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、1千6百万円（前年同四半期は7千9百万円の資金減少）となりました。これは主に定期預金の預入による支出2億1千5百万円及び有形固定資産の取得による支出1千7百万円があった一方で、定期預金の払戻による収入1億7千4百万円及び有形固定資産の売却による収入7千6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6千4百万円（前年同四半期は2千9百万円の資金減少）となりました。これは主に新規の長期借入れによる収入9千万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1億3千8百万円及び配当金の支払額1千5百万円によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 8,000,000 |
| 計 | 8,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成30年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成31年2月8日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|------------|
| 普通株式 | 2,142,000 | 2,142,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 2,142,000 | 2,142,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|----------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成30年10月1日～ 平成30年12月31日 | - | 2,142,000 | - | 107,100 | - | 582 |

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成30年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 86,200 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 2,051,300 | 20,513 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 4,500 | - | - |
| 発行済株式総数 | 2,142,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 20,513 | - |

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が43株含まれております。

【自己株式等】

平成30年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数 (株) | 他人名義所有 株式数 (株) | 所有株式数の 合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%) |
|------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| 不二硝子株式会社 | 東京都墨田区文花二丁目 15番9号 | 86,200 | - | 86,200 | 4.02 |
| 計 | | 86,200 | - | 86,200 | 4.02 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年10月1日から平成30年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人元和による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|-------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 529,845 | 626,640 |
| 受取手形及び売掛金(純額) | 2,364,519 | 2,3670,950 |
| 有価証券 | 50,741 | 128,746 |
| 商品及び製品 | 439,093 | 276,971 |
| 仕掛品 | 3,165 | 474 |
| 原材料及び貯蔵品 | 39,598 | 42,788 |
| 未収入金 | 46,948 | 26,004 |
| その他 | 4,347 | 13,416 |
| 流動資産合計 | 1,760,261 | 1,785,992 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 359,797 | 348,533 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 105,173 | 92,584 |
| 土地 | 446,096 | 445,096 |
| 建設仮勘定 | 15,504 | 10,721 |
| その他(純額) | 5,102 | 4,756 |
| 有形固定資産合計 | 931,674 | 901,692 |
| 無形固定資産 | 1,033 | 2,210 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 930,118 | 959,020 |
| 繰延税金資産 | 14,103 | 6,154 |
| その他 | 41,640 | 41,336 |
| 貸倒引当金 | 7,617 | 7,617 |
| 投資その他の資産合計 | 978,244 | 998,894 |
| 固定資産合計 | 1,910,952 | 1,902,798 |
| 資産合計 | 3,671,213 | 3,688,791 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 154,772 | 124,552 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 162,800 | 148,400 |
| 未払法人税等 | 17,236 | 1,933 |
| 未払事業所税 | 7,299 | 5,498 |
| 賞与引当金 | 60,465 | 20,411 |
| その他 | 103,349 | 124,855 |
| 流動負債合計 | 505,922 | 425,652 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 167,600 | 134,000 |
| 繰延税金負債 | 187,240 | 223,041 |
| 役員退職慰労引当金 | 156,876 | 163,921 |
| 退職給付に係る負債 | 111,782 | 108,461 |
| 資産除去債務 | 28,801 | 28,812 |
| 固定負債合計 | 652,300 | 658,237 |
| 負債合計 | 1,158,222 | 1,083,889 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 107,100 | 107,100 |
| 資本剰余金 | 582 | 582 |
| 利益剰余金 | 1,803,817 | 1,876,099 |
| 自己株式 | 33,848 | 33,848 |
| 株主資本合計 | 1,877,651 | 1,949,933 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 557,469 | 575,488 |
| その他の包括利益累計額合計 | 557,469 | 575,488 |
| 非支配株主持分 | 77,870 | 79,479 |
| 純資産合計 | 2,512,990 | 2,604,901 |
| 負債純資産合計 | 3,671,213 | 3,688,791 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 1,946,947 | 1,931,646 |
| 売上原価 | 1,573,854 | 1,571,217 |
| 売上総利益 | 373,093 | 360,428 |
| 販売費及び一般管理費 | 317,771 | 323,760 |
| 営業利益 | 55,322 | 36,667 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 18 | 25 |
| 受取配当金 | 17,545 | 17,600 |
| 受取賃貸料 | 6,413 | 6,175 |
| その他 | 4,871 | 3,879 |
| 営業外収益合計 | 28,849 | 27,681 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,763 | 2,165 |
| 賃貸費用 | 3,706 | 3,665 |
| その他 | 1,318 | - |
| 営業外費用合計 | 7,789 | 5,831 |
| 経常利益 | 76,382 | 58,517 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 75,936 |
| 特別利益合計 | - | 75,936 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 76,382 | 134,454 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,971 | 9,942 |
| 法人税等調整額 | 14,666 | 34,151 |
| 法人税等合計 | 24,637 | 44,094 |
| 四半期純利益 | 51,744 | 90,359 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 3,495 | 2,659 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 48,249 | 87,700 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 51,744 | 90,359 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 94,562 | 18,019 |
| その他の包括利益合計 | 94,562 | 18,019 |
| 四半期包括利益 | 146,306 | 108,379 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 142,811 | 105,719 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 3,495 | 2,659 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 76,382 | 134,454 |
| 減価償却費 | 49,862 | 46,106 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 43,686 | 40,053 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 86 | 30 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 9,582 | 7,045 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | 7,596 | 3,321 |
| 受取利息及び受取配当金 | 17,563 | 17,626 |
| 支払利息 | 2,763 | 2,165 |
| 有形固定資産売却損益(は益) | - | 75,936 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 17,320 | 24,460 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 106,606 | 161,623 |
| 未収入金の増減額(は増加) | 11,174 | 20,943 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 39,804 | 30,219 |
| 未払金の増減額(は減少) | 3,471 | 698 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 24,075 | 11,186 |
| その他の収入 | 3,003 | 1,012 |
| 小計 | 90,537 | 192,250 |
| 利息及び配当金の受取額 | 17,562 | 17,622 |
| 利息の支払額 | 2,745 | 2,133 |
| 法人税等の支払額 | 11,833 | 25,245 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 93,521 | 182,494 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 153,322 | 215,081 |
| 定期預金の払戻による収入 | 129,064 | 174,571 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 49,695 | 17,976 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 76,936 |
| 無形固定資産の取得による支出 | - | 1,258 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1,382 | 1,284 |
| その他 | 3,673 | 303 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 79,009 | 16,209 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 150,000 | 90,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 154,200 | 138,000 |
| 配当金の支払額 | 24,187 | 15,365 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | 1,051 | 1,050 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 29,439 | 64,415 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 14,927 | 134,288 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 404,664 | 433,017 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 389,736 | 567,306 |

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|-----------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形裏書譲渡高 | 123,575千円 | 149,631千円 |

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形及び売掛金(純額) | 817千円 | 847千円 |

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|--------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | 1,328千円 | 30,000千円 |
| 裏書譲渡手形 | 3,568 | 10,597 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定 | 489,069千円 | 626,640千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金等 | 144,070 | 188,080 |
| 有価証券勘定 | 44,737 | 128,746 |
| 現金及び現金同等物 | 389,736 | 567,306 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 配当支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成29年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 24,669 | 12.00 | 平成29年3月31日 | 平成29年6月30日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 配当支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成30年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 15,418 | 7.50 | 平成30年3月31日 | 平成30年6月29日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成30年12月31日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成30年12月31日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動があるものの企業集団の事業の運営において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成30年12月31日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 23円47銭 | 42円66銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 48,249 | 87,700 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 48,249 | 87,700 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 2,055 | 2,055 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成31年2月8日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

監査法人 元和

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 由久

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中川 俊介

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年10月1日から平成30年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成30年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成30年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成30年2月13日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成30年6月28日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。